

機構職員 4 名が新たに「Global Sustainable Tourism Council・Sustainable Tourism Training Program (GSTC STTP)」試験に合格

【ブランディング】

7月7日（火）から9日（木）に実施した「GSTCサステナブルツーリズム研修」を受講した当機構職員4名（多田マネジャー、岸本マネジャー、寒原マネジャー、土居マネジャー）が、研修後の「GSTC STTP試験」を受験し、全員が合格しました。

これにより、GSTCからサステナブルツーリズムのプロフェッショナルとして認定された職員は、累計で24名となりました。なお、当機構では、現在在籍している全ての職員（14名）は当該認定を受けています。

また、同じく研修を受講した参加者からも合格のお声をいただいております。



在席職員14名の「GSTC STTP試験」合格証書



「GSTC STTP試験」合格証書

2026年度 四国DMO連携会議を開催

【ブランディング】

8月5日（水）、愛媛県松山市で、「2026年度 四国DMO連携会議」を四国運輸局との共催により開催しました。当会議は、DMO間の県域を越えた連携強化と交流を図るために、2023年度から開催しているものです。

第1部では、当機構の今年度事業について説明したのち、四国内DMO20団体よりそれぞれ事業報告をいただき、質疑応答や意見交換を行いました。

第2部では、四国運輸局よりレンタカー利用調査等の事業についてご説明いただいたほか、中国四国農政局より農泊推進策について、四国経済産業局より省力化・生産性向上支援策についてご紹介をいただきました。続いて、株式会社JTB霞が関事業部より風見幸太郎氏をお迎えし、DMO登録更新や新ガイドラインに対応した「KGI・KPI算出のためのヒント」について事例を交えたご講演をいただきました。

当機構では、引き続き、四国全体の広域連携を一層深め、国内外からの誘客拡大と持続可能な観光地域づくりに取り組んでまいります。

開催日時	2026年8月5日（水）13:00～16:45
実施場所	松山市総合コミュニティセンター 大会議室 （愛媛県松山市）
出席者	四国運輸局観光部 6名 四国運輸局 愛媛運輸支局3名 四国内DMO20団体31名 オブザーバー参加10名 講演者：風見幸太郎氏 （（株）JTB霞が関事業部）
機構出席者	桑村本部長、伊藤統括副本部長ほか7名



<会議の様子>



<講演の様子>

データ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）活用推進に向けた意見交換会を開催

【ブランディング】

8月6日（木）、愛媛県松山市で、当機構が取り組んでいる「データ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）」の活用促進に向け、会員、顧問、四国内DMO等を対象とした意見交換会を開催（オンライン併用）しました。

意見交換会では、DMPの運用をサポートしている（株）ヴァリューズの担当者とともに、現在利用可能なダッシュボード上のデータに加え、今年度新たに導入したデータやその活用方法などについて紹介し、その後、会場とオンラインでグループに分かれて、業務でのデータの活用状況や活用にあたっての課題、自身の担当業務へのDMPの活用方法、その他今後活用したい観光データなどについて、ディスカッションを行いました。

今回いただいたご意見は、今後のDMPの改良に活かすとともに、来年3月にフィードバックさせていただく予定です。

DMPは当機構の会員さまは無料でご利用いただけます。[こちら](#)または下記二次元コードからご利用ください。

なお、ご利用の際のユーザー名及びパスワードは、ご案内しておりますものをご利用ください。ご不明の場合は別途お問合せください。



開催日時	2026年8月6日（木）10:00～12:00
実施場所	愛媛県水産会館 大会議室（愛媛県松山市） ※オンライン併用
出席者	会場：16団体30名、オンライン：40団体56名
機構出席者	清水CMO、多田マネジャー、岸本マネジャー



<会場の様子>

Greater WEST JAPAN連携会議を開催

【ブランディング】

8月21日（金）、香川県高松市で、西日本の広域連携DMO4団体（（一財）関西観光本部、（一社）山陰インバウンド機構、（一社）せとうち観光推進機構、当機構）が集まり、「Greater WEST JAPAN 連携会議」を開催しました。

会議では、連携協定（2023年5月締結）に基づき実施するセールス・プロモーションの共同展開について話し合い、来年2月上旬に豪州シドニーで開催予定の「Japan Roadshow」に、今年度も共同出展できるよう、昨年に引き続き主催者（日本政府観光局）への働きかけを続けることを確認しました。また、出展に併せて現地で共同でセールスコールを実施することも決定しました。

さらに、10月上旬に、東京でのランドオペレーターへの営業を実施することを決定しました。

4 DMOでは、引き続き、西日本、そして四国への誘客・周遊促進に向けて連携して取り組んでまいります。

開催日時	2026年8月21日（金）14:00～16:00
実施場所	あなづきアリーナ香川 メインアリーナ会議室4（香川県高松市）
出席者	3 DMOから合計9名
機構出席者	桑村本部長、伊藤統括副本部長、神野副本部長、清水CMO、竹内チームマネジャー



<会場の様子>

2026年度 四国ツーリズム創造機構 第1回意見交換会を開催

【ブランディング】

8月26日（水）、高知県高知市で、協賛会員、顧問、高知県内の会員の皆さまと意見交換会及び交流会を開催いたしました。

意見交換会では、当機構の桑村本部長より開会のご挨拶を申し上げるとともに、本年6月に四国4県と当機構が発表した新たなキャッチコピーとロゴについてご説明いたしました。続いて、今年度当機構が取り組んでいる四国観光・旅アプリ「しこくり」、アドベンチャートラベル・サステナブルツーリズム推進事業、DMP運用事業など21事業について、現在の進捗状況をご説明させていただきました。また、ご出席いただいた四国4県、JR四国、ならびに四国総合通信局、四国運輸局、日本観光振興協会の皆さまからも、それぞれの取組状況についてご報告をいただきました。

意見交換会に引き続いて行った交流会では、参加者同士の親睦を深めていただくとともに、四国への更なる誘客促進に向けて一体となって取り組んでいくことを再確認いたしました。

なお、第2回意見交換会は11月9日（月）に、徳島県徳島市にて開催を予定しております。協賛会員、顧問、徳島県内の会員の皆さまの多数のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時	2026年8月26日（水） ＜意見交換会＞ 15:15～17:15 ＜交流会＞ 17:30～19:30
実施場所	城西館 日輪の間（高知県高知市）
出席者	意見交換会：63名、交流会：55名 ※機構職員を除く
機構出席者	半井代表理事、桑村本部長 ほか7名 ※代表理事は交流会のみ参加



＜意見交換会の様子＞



＜交流会の様子＞

観光庁訪問

【その他】

この度、8月7日付で、国土交通省観光庁 長崎敏志観光地域振興部長が異動され、後任に飛田章 国土交通大臣官房付が新たな観光地域振興部長に就任されました。

観光地域振興部長の交代を受け、当機構から半井代表理事と桑村本部長、伊藤統括副本部長が観光庁へ挨拶に伺い、当機構の事業説明や意見交換を行いました。

訪問日時	2026年8月25日（火）
訪問場所	観光庁
対応者	飛田観光庁観光地域振興部長、 木坂観光地域振興課広域連携推進室長
機構参加者	半井代表理事、桑村本部長、伊藤統括副本部長



＜訪問の様子＞

2026年度 第1回四国インバウンド担当課室長会議を開催

【マーケティング】

8月6日（木）、香川県高松市で、「第1回四国インバウンド担当課室長会議」を開催いたしました。本会議は、四国4県およびJR四国、さらにオブザーバーとして四国運輸局のインバウンド担当課室長が集まり、各団体が実施するインバウンド事業の情報共有や意見交換を目的として開催しているものです。当日は、当機構の2026年度事業の進捗報告を行った後、4県・JR四国・四国運輸局の皆様からそれぞれの取組状況を共有いただき、今後のインバウンド誘客に向けた活発な意見交換を実施いたしました。引き続き、各関係機関の皆様と密に連携しながら、四国へのインバウンド誘客を推進してまいります。

実施日時	2026年8月6日（木）14:30～16:30
実施場所	サンポートホール高松 63会議室 （香川県高松市）
参加者	四国4県、JR四国、四国運輸局インバウンド担当者 計11名
機構参加者	桑村本部長、伊藤統括副本部長ほか6名



＜インバウンド担当課室長会議の様子＞

シンガポールにて「SHIKOKU Travel Festival」を開催

【マーケティング】

8月29日（土）、シンガポール中心部にある「One&Co」で、四国4県とJR四国のご協力のもと、BtoC向けイベント「SHIKOKU Travel Festival」を開催しました。現地のトラベルブロッガーWendy氏による四国旅行に基づいたプレゼンテーションをはじめ、クイズ大会ややさしい体験、地酒や名産品の試食などを通じて、参加者に四国の魅力を直接アピールしました。また、前日8月28日（金）には、JNTOシンガポール事務所を訪問し、四国エリアへのインバウンド誘客拡大に向けた意見交換を行いました。

今回のイベント参加者は、訪日リピーター層の割合が高く、四国の食や自然体験を取り入れた具体的な旅行行程や移動手段に関する情報への関心が高いことが分かりました。今後も現地での反響やアンケート結果を活かし、各関係機関の皆様と連携しながら、訪日リピーター層の獲得に向けた継続的な情報発信に取り組んでまいります。

実施日時	2026年8月29日（土）14:00～16:30
実施場所	One&Co（シンガポール）
参加者	四国4県、JR四国、JNTOシンガポール事務所
機構参加者	清水CMO、寒原マネジャー



＜JNTO表敬訪問＞
※当機構単独で実施



＜SHIKOKU Travel Festivalの様子＞

2026年度シンガポール事業 総括① 背景と実施の考え方

【清水CMOからの情報】

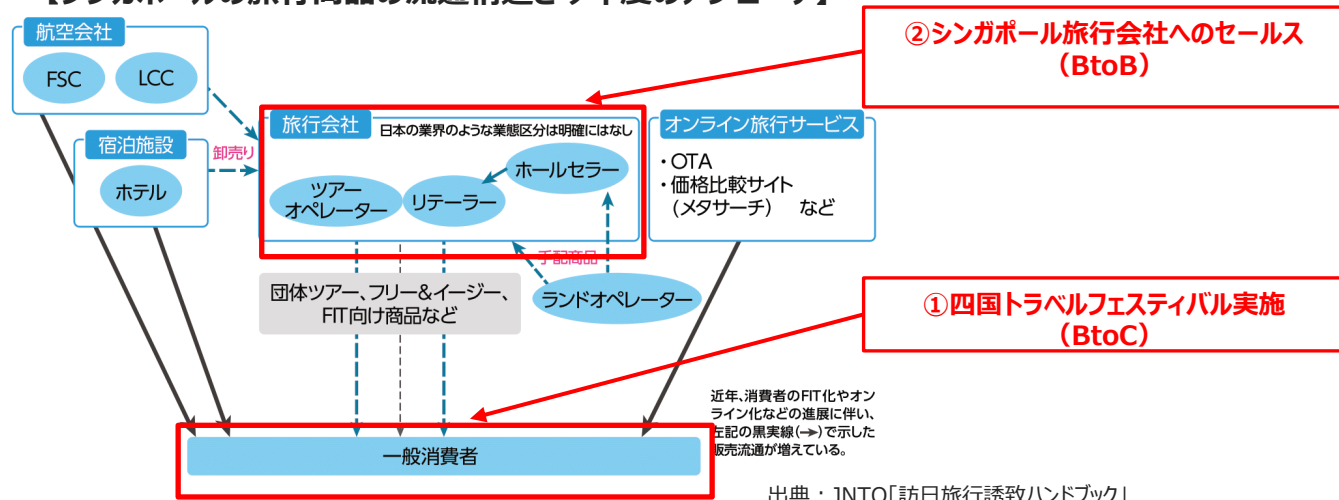
当機構では、2026年からを期間とする[第6次四国観光交流戦略](#)において、シンガポールを含む東南アジアを新規ターゲット市場と設定しております。シンガポールでの①**四国トラベルフェスティバル（BtoC）**及び②**シンガポール旅行会社へのセールス（BtoB）**から見たシンガポール市場の総括を記載させていただきます。

【背景】

当機構では、2024年度及び2025年度は、シンガポール最大級の旅行博「[NATAS HOLIDAYS](#)」にブース出展し、一般消費者に対する四国PRに努めてきたところ（[詳しくは、当機構2025年活動レポート8～11ページをご覧ください](#)）、四国ブース来訪者の四国への来訪意欲は高いことがわかりました。そこで「旅行者への来訪意欲を喚起しながら、旅行商品として流通される仕組み作り」として、下図のとおりとなっているシンガポールでの旅行商品の流通構造において、旅行者への訴求と、旅行会社への働きかけの両輪を実施することで効果（送客）につながると考えました。

これらを踏まえ、2026年度は四国にフォーカスした ①四国トラベルフェスティバル（BtoC）及び②シンガポール旅行会社へのセールス（BtoB）を四国として一体で実施しました。

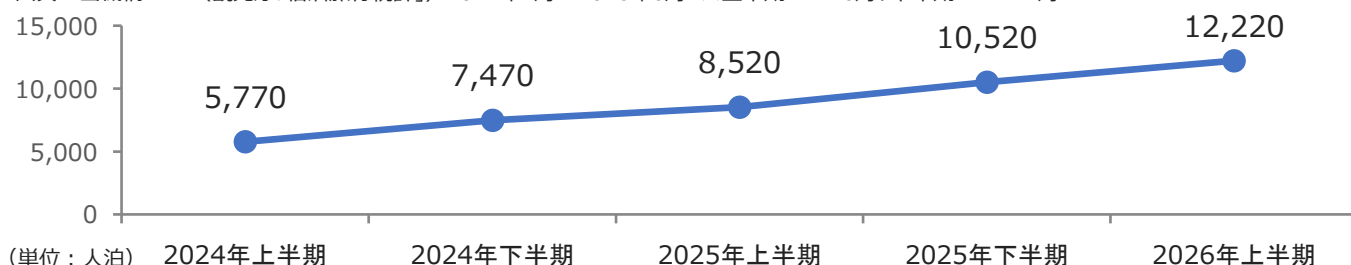
【シンガポールの旅行商品の流通構造と今年度のアプローチ】



①**四国トラベルフェスティバル実施（BtoC）** + ②**シンガポール旅行会社へのセールス（BtoB）**
→ 旅行会社と一般消費者双方へのアプローチを継続し、四国来訪者を増やす。

【シンガポール人の四国延べ宿泊者数】

出典：当機構DMP（観光庁「宿泊旅行統計」）2024年1月～2026年6月 ※上半期＝1～6月、下半期＝7～12月



シンガポールの宿泊者数は2024年上半期から4期連続で増加中。

2026年度シンガポール事業 総括② BtoCセミナー

【清水CMOからの情報】

【四国トラベルフェスティバル アンケート概要】

アンケート回答数：67名

トラベルフェアの詳細は、4ページをご覧ください。

<回答者情報>

- ・訪日5回以上：67%
- ・四国未訪問：80%
- ・12か月以内の訪日予定：58%
- ・理想の滞在7泊以上：67%

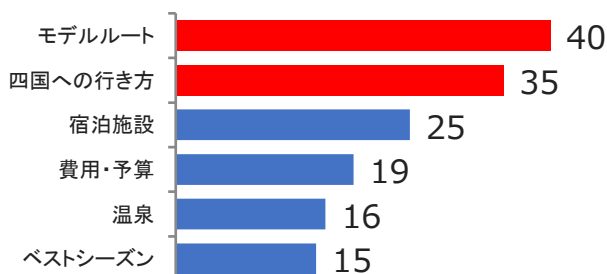


Wendy氏によるプレゼンテーション

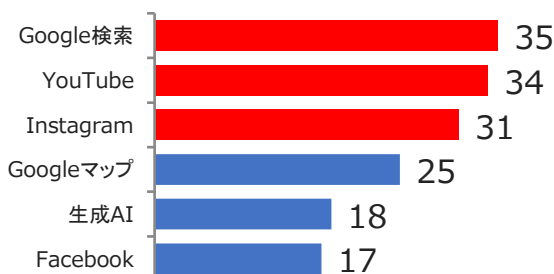


四国4県・JR四国・当機構のチーム四国

【計画に役立つ追加情報】（単位：人）



【旅行計画時の情報源】（単位：人）



・求められているのは行程と移動情報。

・情報源はGoogle検索・YouTube・Instagramが上位、検索（ホームページ）とSNSの両輪で届ける必要がある。

【回答者が参考している発信者・メディア】

個人発信者

[Ghib Ojisan](#)／[Abroad in Japan](#)／[Tokyo Lens](#)／[TabiEats](#)／[Whywendywrites](#)（本セミナー登壇者）

公式・情報サイト

[JNTO](#)／[japan-guide.com](#)



Ghib Ojisan

【地場産品との連携可能性】

当日は四国4県の地場産品（鳴門金時スイーツ、讃岐うどん、みかんゼリー、カツオのたたき等）と地酒の試食試飲を行いました。その中で、高知県のゆずや日本酒をはじめとする四国の産品が、すでにシンガポールのスーパーマーケット等で幅広く流通しているということがわかりました。



現地スーパーで
高知県ゆず・讃岐うどん・日本酒は幅広く流通。

・観光と地場産品のプロモーションを結び付ければ、店頭での接点が旅行の動機づけになりえる。

・観光×地場産品の連携は、BtoC施策に効果的。

2026年度シンガポール事業 総括③ BtoB旅行会社セールス

【清水CMOからの情報】

【実施概要】

日程：2026年8月31日（月）・9月1日（火）

訪問先：シンガポールの主要旅行会社 9社

- ①Joy of Japan／②Follow Me Japan／
③Chan Brothers／④Azza Travel／
⑤CTC Travel／⑥New Shan Travel／
⑦SA Tours／⑧Hong Thai Travel／
⑨Nam Ho Travel



③Chan Brothers



④Azza Travel

ムスリム層にも四国需要有り（サイクリング）

【複数社から共通してあがった要望】

要望・ニーズ	社数	商談で挙がった具体的な内容
広域周遊への組み込み	6社	既存の広域ルートの中に新しい切り口で四国を2泊前後を入れる形が現実的。
観光列車を移動の目玉にする	5社	伊予灘ものがたり・四国まんなか千年ものがたり・志国土佐 時代の夜明けのものがたり。 ランチ付きは、15～30名の団体に適合するも予約がネック。
富裕層への商品化	5社	1人あたりの旅行商品100万～500万円程度を扱う層が存在。 「マンダリン オリエンタル 瀬戸内」開業は、富裕層の拠点として好反応。
FAMトリップを通じた情報取得	4社	現地スタッフが手配情報を把握しないと店頭で売りづらい。 FAMトリップで素材を撮影し商品説明会で販売するモデルが最も理想的。
季節を軸にした情報	4社	桜・紅葉・桃、いちご狩り・みかん狩りなど。 大歩危の雪景色など、季節を切り口にした特別ツアーへの関心。
シニア・ファミリー向けの歩きやすい行程	3社	金刀比羅宮の階段はシニア・子供に負担が有り。 栗林公園の和船・茶室、食体験など、ゆったり楽しめる構成が求められる。

- ・広域ルートの旅行商品に四国を取り組む。（既存アプローチ）
- ・富裕層向け長期滞在商品。（新規アプローチ）

【複数社に共通するボトルネック】

課 題	社数	内 容
移動時間の長さ2次交通	5社	大阪発着では四国までの移動が長く行程が過密。 英語対応ハイヤーの確保も課題。
団体受入環境とFIT情報のミスマッチ	3社	下灘駅などSNSで話題のスポットは大型バスの駐車・団体食に対応できず、 パッケージ化できない。
認知度・素材・支援制度の情報不足	3社	顧客層に「四国がどこか」が知られていない。旅行会社で四国を訴求する際の高 画質画像が不足。各県の送客補助金情報も一元化されておらず活用しづらい。

- ・ハイヤー情報・団体飲食店情報・宿泊施設情報（機構会員）は旅行会社へ提供済み。
→旅行商品へ組み込んでいただく継続した営業活動を実施。（BtoB）
- ・顧客層へ四国の幅広いモデルコースやなど二次交通など実用的な情報配信
→顧客層へ継続して四国来訪意欲を喚起。（BtoC）

2027年度に検討できる事業（案）

【清水CMOからの情報】

2026年度は、BtoCセミナーで一般消費者の関心を喚起するとともに、BtoBセールスで旅行会社へのヒアリング営業活動という両輪で実施しました。

その結果、四国関心層は確かに存在する一方で、四国が広く旅行商品として「買える形」になっていない状況も確認できました。

2027年度も、旅行会社（BtoB）と旅行者（BtoC）の双方に同時に働きかける両輪での事業設計を検討してまいります。

（※以下、案となります）

旅行者へのアプローチ案（BtoC）	旅行会社へのアプローチ案（BtoB）
継続した現地イベント開催 （産品連携強化・旅行商品販売動線の検討） 旅行会社が同席した商品販売まで直結。 現地流通する四国の産品とも連携。	広域周遊ルートへの組み込み提案 既存ルートに新たな切り口の四国を組み込み、販売いただくところまで伴走。
モデルルート・移動情報の英語情報整備 知りたい情報はモデルルート40名、行き方35名が上位。 四国来訪でそのまま使える行程情報を届ける。	富裕層を扱う旅行会社へ四国を提案 長期滞在層へ四国を提案し、販売いただくところまで伴走。

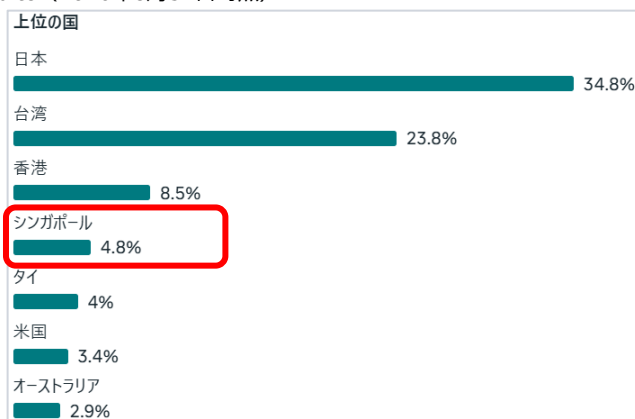
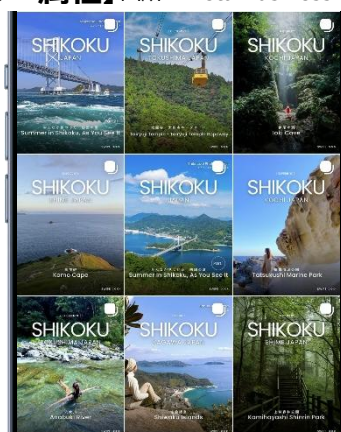


オウンドメディアと連動を図る。
シンガポールフォロワーも堅調に増加。

【機構のInstagramフォロワー属性】出所：Meta Business Suite（2026年8月31日時点）



現在：23,861人
（KPI(23,000人)達成）



東南アジア市場拡張案

今回のムスリム系旅行会社でのヒアリングでも、四国のニーズはある。

当機構が、今年度実施しているハラル対応も含む、「四国における食の多様化への対応促進のための調査事業」で得られた四国内飲食店リストの情報をもとに、マレーシア市場など、シンガポール営業と併せた近隣東南アジア市場への展開も検討候補案となり得る。

JNTO主催のマレーシア商談会などを活用し、JNTOと連携を図っていくことも効果的。

今後も、旅行会社と旅行者の双方へのアプローチを継続し、四国への送客に努めてまいります。

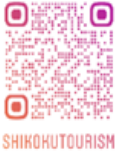


代表理事の主な動静

- 8月4日（火）定例会議・推進会議（当機構の会議）
- 19日（水）定例会議・推進会議（当機構の会議）
- 25日（火）観光庁訪問（東京都）
- 26日（水）第1回意見交換会（高知市）※交流会のみ

（一社）四国ツーリズム創造機構
事業推進本部
岸本、神野

TEL：087-813-0434
FAX：087-813-0312



後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日(火) ～2027年3月(予定)	https://www.botchan.co.jp/production.html
四国コンテンツ映像フェスタ2026	四国総合通信局、 四国情報通信懇談会	2026年4月24日(金) ～12月(予定)	https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/
周遊スタンプラリー「四国巡りんく」	本州四国連絡高速 道路株式会社	2026年5月25日(月) ～2027年1月31日(日)	参考(2025年度公式サイト)： https://www.love-setouchi.jp/megulink2025/
第7回 SB Student Ambassador 四国ブロック大会	SB Student Ambassador 四 国ブロック大会 事 務局	2026年6月12日(金) ～11月7日(土)	https://www.sbsa27.com/

9月以降の主な予定表

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月
マーケ ティング (国内)	JAL麗らか四国キャンペーン (4月～10月)	四国観光商談会 (10月6日/大阪)	ANA誘遊四国キャンペーン(9月～3月)	秋のしあわせ、まるっと四国巡りフェア (11月21日～23日/京都)		
マーケ ティング (国際)	JNTOマーケット研究会 (9月9日/高松市)	JAL麗らか四国キャンペーン英国FAMツアー (9月8日～14日 /四国4県)	第18回FITフェア(10月16日～18日/タイ)			
ブラン ディング	四国「持続可能な観光」 ネットワーク会議(10月29日/内子町)	四国「持続可能な観光」先進地視察 (11月25日～26日/高山市)	第2回意見交換会 (11月9日/徳島市)	第3回意見交換会 (1月18日/松山市)		